

2005 年 (平成 17 年) 7 月 1 日金曜日 (毎月 1 日発行)  
1 部 50 円 (消費税込・送料別)  
発行所/天台宗出版室  
発行人/出版室長 工藤 秀和  
〒520-0113 大津市坂本4-6-2  
天台宗務庁内  
電話 077-579-0022 (代)  
E メール/T-Press@tendai.or.jp

総登山・総授戒  
あなたの中の  
仏に会いに

極 微 ごくみ  
美を求める心は洋の東  
西、古今を問わない。  
ある健康食品を使用しな  
究は誰しも止められない。追  
くても...という気がす  
す。ダイエット健康食品  
が、そのために命を落と  
すとなる。論外である  
を使った女性の被害が全  
国的に拡がり、死者も出  
ている。男性の立場から  
「はなはだ美なれば必ず  
はなはだ悪あり」とあ  
る健康食品を使用しな  
くても...という気がす  
が、男性の美女願望  
にこそ罪があると柳眉を  
立ててられそうでもあ  
る。中国の古い言葉には  
「はなはだ美なれば必ず  
はなはだ悪あり」とあ  
る。

# 仏教者が平和の架け橋に



戦闘で住み慣れた地を離れ、道端の水を飲む子どもたち (イラクで) ロイター・サン

世界平和を祈念する「比叡山宗教サミット十八周年 世界平和祈りの集い」が、八月三、四日に開催される。一九八七年に第一回サミットが開かれて以来毎年行われており、今年は十八周年となる。今回は「平和の架け橋を求めて アジア仏教者との対話集会」をテーマとし、仏教が平和のために何ができるのかを各国の仏教者や諸宗教代表者と話し合い、共に平和のために祈る。

## ◎比叡山宗教サミット18周年

—— 8月3、4日に開催

今回は「キリスト教とイスラム教の対立を世界の人々が危惧している中で『仏教が、平和の架け橋となるべきだ』という声を受けて」との開催趣旨を打ち出している。  
海外から招請する宗教代表はタイ、カンボジア、中国、台湾、韓国、スリランカ、パングラデシュ、インド、アメリカ、マレーシアの十カ国十三名。そのうち仏教が十一名、キリスト教一名、イスラム教一名の予定。  
三日は京都市のウエスティン都ホテルにおいて、作家の瀬戸内寂聴師が「無償の奉仕の力」、タイのパイサン・ウオンボラビシット国民和解委員会委員が「仏教者とは平和のための媒介者である」と題して記念公演を行う。  
また四日、午前中は同ホテ

## 天台宗ニューヨーク別院 新本堂が落慶

日本から参拝団も随喜



渡邊恵進天台座主現下は、開催に向けて「平和の表現とは、お互いの多様性を認め、共存することです。そのことは、決して平坦ではなく、対立する民族同士はもちろん、

### 信頼と尊敬は共に 困難な道を歩むときに

#### 渡邊座主現下

今回のサミットを通じ、どの宗教も平和を求めていない宗教はないと知った。この貴重な財産を基に、今回は、アジアの仏教者が平和実現のために、相争う人々への理解の架け橋となる道を話し合いたい」と決意を語っている。

### 米本土初めての開教拠点

本堂は、昨年六月に地鎮祭が行われ、間真・ポール・アメリカのニューヨーク州イースト・チャタムの「天台宗ニューヨーク別院本堂」が完成を迎え、六月二十五日に落慶式典が盛大に営まれた。  
天台宗は、ハワイを皮切りに約三十年前から海外開教に取り組んでいるが、ニューヨーク別院は、アメリカ本土で初めての海外開教拠点となる。  
本堂は、昨年六月に地鎮祭が行われ、間真・ポール・

ネエモン住職を中心に建設が進められ、天台宗や天台宗海外伝道事業団、信者、ボランティアの物心両面の協力を得て、このほど完成。  
当日は、小堀光詮三千院門主を大導師に、落慶法要が厳修され、西郊良光天台宗宗務総長、森定慈芳延慶寺執行、杉谷義純天台宗海外伝道事業団理事長ら、日本から約八十名が随喜。共々に落慶を喜び

ルで「紛争和解のために仏教者は何ができるのか」をテーマとしてシンポジウムが行われ、午後からは会場を比叡山に移し、出席者全員で世界平和のための祈りが捧げられる。

### 法の灯

#### 一隅を照らす人生とは

福島教区布教師会会長 大石 清海

私の叔父は生後すぐ小児マヒで右足が不自由になり、小学一、二年生頃までは、送り迎えをしてもらったそうです。昭和に入ると、身障者にも中学校の門戸が開かれたので、十キロの山道を不自由な足をものともせず、自転車通学で乗り切り卒業しました。その後、東京写真学校を卒業して、写真館を開業しました。が、戦争で廃業し、役場に就職。戦後は、夫婦で力を合わせ、五人の子を育て

上げてました。  
定年後は、地域のために尽くし、特に町史編集では事務局として、資料の収集と整理に責任を持って当たり、町史完成の基礎づくりを成し遂げました。資料整理の時には、古文書解読を独学で会得し、町内の古文書を整理。遺跡の発掘では、高山の実地調査に参加、悪い方の足に血マメを作っても頑張るなど、与えられた役割に真面目に取り組みました。七十五才を過ぎ

長は「これまでのサミットを通じて、どの宗教も平和を求めていない宗教はないと知った。この貴重な財産を基に、今回は、アジアの仏教者が平和実現のために、相争う人々への理解の架け橋となる道を話し合いたい」と決意を語っている。

# 鬼手仏心

## 旧日本兵が生存？

天台宗出版室長

工藤 秀和

フィリピンのミンダナオ島で、元日本兵二人が生存しているというニュースが流れました。実名まで出て報道されましたが、その後全く消えてしまいました。

現地では、日本兵をめぐる詐欺まがいのビジネスがはびこっているということです。日本大使館もマスコミも、すっかり騙されたようです。

現地での戦闘は、激烈を極め、部隊もばらばらになってしまったために、誰がどこで戦死したのか、あるいは負傷したまま置き去りにされた人がどうなったのか、さらには餓死したのか、詳しいことは日本にもアメリカにも分らな

いのです。今も分りません。かつて横井さんや小野田さんが長くジャングルに隠れて出てこなかったのは、終戦を知らなかった(信じなかった)からです。上官の命なく投降すれば、死刑になると軍隊でたたき込まれていたからです。

飛行機に爆弾を積んでひとりたび出撃すれば、還らなかったことはよく知られています。フィリピン、つまりレイテ島、ミンダナオ島、ルソン島など周辺での日本人戦死者は四十七万六千八百人と発表されています。生き残った人々も、ジャングルで泥水をすすり、草を食べるような悲惨な体験をしました。

日本兵生存の未確認情報は、まだ戦後が終わっていないことを印象づけました。フィリピンは、昭和十九年にアメリカ軍がレイテ湾上陸を開始し大決戦が行われた地です。情勢が絶望的であるために、日本は前線基地のマラバカットに初めて「神風特攻隊」を組織しました。彼等が



### 花想風言

大正、昭和の文豪のひとり、徳富蘆花の随筆『みみずのたわごと』に「つゆ草を花と思うのは誤りである。花ではない。あれは色に出た露の精である」と記述される。蘆花は雑草とも呼べるこの小さな草花が好きだったらしく、かつての住まいだった東京・世田谷の芦花公園の旧宅の庭にもツククサが群生している。私事ながら、延暦寺の僧だった亡父・福田実行も可憐なツククサが大好きだった。書画に書くのはもちろん、里坊として預かった止観院の土蔵周辺にツククサを増やして、若葉を摘んでは酢を落とした熱湯でゆがき、冷水であくぬきをしたあと、シヨウワ醤油であえて食卓に添えた。なんでも、中国の仙人たちが好んだ料なおつまみだというのを文献で読んだらしい。酒飲みがやってくる、「おしのぎ」といっては、小皿に盛って出した。小僧だった私は作られたものの、決して美味しいものではなかったと肝に銘じてい

### 第16回 ツククサ 福田徳行(文・写真)

ツククサ科の一年草で世界中に二百種を超える大きな属でつながり、我が国ではムラサキツククサなど四種が数えられる。三枚の花弁があり、夜明け前に朝露を浴びて開くが、正午過ぎには花を閉じる。万葉集などではツククサと呼んでいるが、青い色が着衣につくことから名が付いたのだろう。大学の仲間が友禰染めの職人がいて、今でも布地に下絵を描くのにツククサの花びらを絞る。「水洗いできれいに落ちてあとが残らんやろう。それに後進の若い人に便利だけが優先しないようにわざと手間を掛けているのや」という。京都の古い伝統と文化は、頑固な人々の手によってかすかながらも守られている。

◆プロフィール  
一九三六年東京生まれ。十二歳から十二歳まで比叡山で小僧生活をして過した。元朝日新聞社記者。信越教区新潟部・徳法院住職。俗名 福田 徳行。

# 精進

緑陰に料理を楽しむ  
滋賀・金剛輪寺

滋賀県湖東三山のひとつ、金剛輪寺(濱中光礼住職)では、昭和五十二年から参拝者の希望に合わせて精進料理を提供している。紅葉のシーズンには、すごい人出だから、自分の寺で作ることは不可能だ。先代からのつきあいがある仕出し店と契約している。門前茶屋は別にして、滋賀では、甘味、辛味、塩味、苦

ここだけ。最近では修学旅行生にも精進料理を食べさせたいと訪れる学校もあるという。これからの季節、夏の日晒しを避け、緑陰からの心地よい涼風を受けながらいただく精進料理は、また格別だろう。濱中住職は「日本料理には、五味五色がある。料理は、甘味、辛味、塩味、苦

### 精進料理は、舌で楽しみ、目で楽しむもの



写真は参考の特別精進料理。普段は弁当となる

味、酸味の五つの味付け、赤、青、黄、白、黒の五つの色彩をうまく取り入れ、季節感を出さなくてはいけない。舌で楽しみ、目で楽しんで欲しい」と話す。箸袋には、食事作法も印刷してあり、食事前には説明も兼ねた法話をを行う。以前は書院でも提供していたが、希望者が多いために専用の華樂坊という施設を建立した。最近ではグルメ志向で、精進料理は人気低迷ともいわれるが、お寺で頂くというところから人気が秘密。胡麻豆腐や、筍の木の芽

和え、山菜天ぷらなど豊富な内容である。精進料理といえば、禅門が有名だ。禅宗の寺では、大きな法事の時に精進の膳が出される。食事が進み、最後に番茶がでた時分をみはからって、責任者の僧侶が「どうぞ、ごゆっくり」と挨拶する。これは、もう何も出ませんから、一刻も早く帰って下さいということ。金剛輪寺は天台宗だから、そんなことはない。今なら、食べ終わっても、ゆつくりと樹々の深い緑を味わい、爽やかな風を感じ、庭の趣を楽しむべし。

# 談話室



## 「緊張しています」

戸津説法師を勤める  
東京・深大寺住職 谷 玄昭師

## 自分なりの法華經の心を

伝教大師の命日である六月四日に、比叡山浄土院で行われる長講会で、今年の戸津説法師に指名された。東京で、今なお武蔵野の面影を残す名利・深大寺の貫首である。

戸津説法は、大師が父母の菩提を弔うために、滋賀県戸津の浜で法華經を説法されたのが始まり。戸津説法は、天台宗の重要な法儀で、説法師は毎年八月二十一日から五日間、東南寺において法華經を講ずる。

戸津説法を終ると天台座主への資格を有するので、天台宗僧侶にとつては栄光の役である。

二十数年前、戸津説法を終えた大僧正に話題が及んだとき、谷貫首が「あの方は、もう生き仏様の領域に入られた方ですから」と評されたのが印象に残っている。今度は、ご自身が生き仏様の領域に入られることになりましたか？

「いや、もう、説法師に決まりました。渡邊座主殿下に御礼言上に参りました時に『身を正して勤めます』と申し上げたら『あなたとは、久しいおつきあいです。人間は、緊張しています。学者ではないので、法華經を解説するなどということは出来ません。一僧侶、布教師として生きてきた自分の過去や、体験を元にお話出来ればいいと思っています。本来は、お大師様が、ご両親の極楽往生と民衆教化のためにはじめられたものですから、その趣旨に添ってお勤めしたい。』

## 仏教の散歩道



ひろ さちや

をわの支や/問からい。ち巻多。な説幅い。ち巻多。々視く。てひ経な。様なすはけ「心。家のや口受に若。教りりを書般若。作仏か切持著の新

お釈迦さまは二十九歳のとき、釈迦国の太子の地位を捨てて出家されました。そして出家をした直後は、断食を中心とした激しい苦行を修されます。だが、苦行によっては真理に到達できないことを悟ったお釈迦さまは、そこで、

中道――

を歩むことにされました。その結果、お釈迦さまは悟りを開いて仏になられたのです。

それゆえ、仏教の根本精神は中道だと思えます。

それでは、中道とは何でしょうか……？

それは、お互いに矛盾対立す

る二つの極端から離れて、ゆったりとした道を歩むことです。苦行は一つの極端であれば、快楽に溺れることももう一つの極端です。そうした極端を離れて、ゆったりと道を歩むのが中道です。

そうです、たとえば憎しみの炎を燃やすのは一つの極端です。けれども、だからといって憎んではならないと誠めるのも、またもう一つの極端です。その二つの極端から離れることが中道です。

「焼かれた」と見

ある仏教学者が、隣家からの貰い火で、大事な蔵書や研究論文を全部失ってしまいました。それで彼は、隣家の主人を怨みます。なんとかして仕返しをしてやろうと、そればかりを考えていました。

だが、しばらくして彼は気がつきました。

「自分は仏教を学んでいる人間ではないか。その自分が仕返しばかりを考えている。これじやあ、何のために仏教を学んでいるのかわからぬではないか」

そこで、彼は考え方を換えようとして、それまでは、隣の人に大事な蔵書を「焼かれてしまった」と考えていたのを、あれは自分で「焼いたのだ」と思うようにしようとしたのです。

「焼かれた」から「焼いた」へ

の転換を図つたわけです。でも、それは失敗に終わります。あたりまえです。自分が焼いたわけがないのに、それを自分で焼いたのだと思えるはずがありません。

ところが、そのうちに仏教学者は気がついたのです。あれは「焼かれた」のではない、「焼けた」のでもない、ただ「焼けた」と見るのが中道です。中道によってこそ、わたしたちは問題を解決することができるのです。

「緊張しています。学者ではないので、法華經を解説するなどということは出来ません。一僧侶、布教師として生きてきた自分の過去や、体験を元にお話出来ればいいと思っています。本来は、お大師様が、ご両親の極楽往生と民衆教化のためにはじめられたものですから、その趣旨に添ってお勤めしたい。』

谷貫首が、緊張されるとは意外です。常々「平常心」では？

「いえいえ、準備を進めながら『一喜一憂』というところでしょうか。』

## 中道の精神

得ることができたのです。わたしたちが中道だと思えます。すなわち、「焼かれた」と見るのは一つの極端です。それは被害者意識



(カット・伊藤 梓)

そんなにくすぐ変わるものではない。むしろ、あなたでなくては話せない法華經の心をお話下さい」と言われました。

現在、準備に忙殺されているが、対外的な重要役職も数多く東奔西走が続く。

六月十三日から十五日まで韓国の忠南禮山郡・修徳寺で開かれた第二十六回日韓仏教文化交流大会には日韓仏教交流協議会(会長・宮林昭彦光明寺法主)の理事長として出席した。折からマスコミが殺到したが、記者会見で宮林会長や谷理事長は「日本が昔韓国を侵害した歴史的事実には、深く反省・懺悔の念をもっており、再びこのような不幸なことが起こらないことを誓う」と共に「両国の交流には千年以上の歴史があり、近い視点で見なくてはならない。過去を振り返りつつ未来志向で考えなくては」と述べ、好意的に受けとめられた。

また、宗内においては天台宗総合研究センター委員で「人材養成」について研究している。「師僧と弟子の関係が希薄になっている。それは親から子へと寺を世襲させる『マイ・テンブル』という考え方が原因。弟子を育てて、ゆるんだタガを引き締めることが重要」と指摘する。

自らも、中学二年生の時に、群馬真光寺に徒弟として住み込み、都筑玄妙師について得度、研鑽を積んでいる。そのことが、自負ともなり財産となった。一度、病を得て深大寺に帰ったが、兄弟子、兄弟弟子と起居を共にして修行に励み、昭和三十三年

**【お知らせ】**

第27号でご紹介した「世界遺産劇場2005」の一般前売開始は7月16日に変更になりました。また、10月6日の「比叡狂言」のSS席は、廃止します。悪しからずご了承下さい。

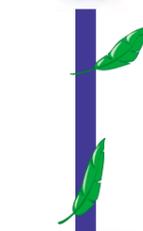
(読売新聞大阪本社事業局)

# A Story in the Tendai

## “隠れ里”でたった一人の廃寺復興

滋賀・教林坊住職 廣部光信 師

# 仏と生きる



Vol.15

滋賀県安土町は、織田信長の安土城跡で有名である。産業は主に農業で、初夏は水田の緑と、麦畑の黄金色が美しい。JR安土駅から、安土城跡とは反対の方向に車で十分ほど走った所に天台宗・教林坊がある。二十年以上も荒れ放題で、「お化け寺」と陰口をたたかれ、誰も近寄りなかつた寺だ。それが、ここ一年、アツという間に安土町のアンケイトで「家族や来客と共に訪れてみたい社寺」のNo.1にランクされるまでになった。

### 一年で訪れたい寺の一番へ

教林坊は、西国第三十二番札所として有名な観音正寺の近くで車を降り、竹のトンネルをくぐった坂の上に、ひっそりと建っている。緑も、風も優しく、古い時間が悠々と流れている。

去年は、拝観受付を手伝っている老爺が、裏庭から掘り出した筍を売っていたという。何とも微笑ましい鄙びた風景である。ほんの数年前まで、訪れる人が、ひとりもなかつたとは信じがたい。

教林坊は六〇五年の創建と伝えられ、千四百年の歴史を有する古刹である。「かつては観音正寺の末寺が三十以上もあり、繁栄を極めたというが、現在は教林坊という、ささやかな寺が一つ残っているだけである」と白洲正子が著書「かくれ里」で描いたのは、今から三十五年近く前である。

檀家も信者もない寺が、無住職になれば荒れるのは早い。庭はもちろん、至る所に竹がはびこり、本堂は雨漏りがひどく、かといって修理する人も力ネもないためビニールシートで覆われていた。訪れる人は絶え、本当に世から隠れてしまったのである。

この寺に廣部光信が住職として晋山したのは、平成九年一月のことだった。二十六歳だった。就任祝賀に集まった友人たちは口々に「こんなボロ寺によく行く気になったな。俺ならゴメンだ」といった。

当然、すぐに住める状態にはなかつた。当時彼は、天台宗務所に勤務する給与生活者だったが「いつかは、ちゃんとした寺にしないで」と思っていた。

その機会が、意外に早く来た。安土町が翌平成十年に、書院を町文化財に指定したのである。その結果、町予算から修理金の一部が認められたが、大部分が前調達を迫られることになった。廣部は寺の世話人と共に関係者を回って寄付を呼びかけた。ある程度の寄付金は集まったが、境内全域を整備出来る額には到底足らなかつた。しかし、寄付してくれた人々への責任があつた。自分の意地もあつた。

彼は平成十五年、天台宗務所を退職し、教林坊の修理と復興に賭けることにした。

相談した大工も、瓦職人も、口を揃えて言った。「本堂修理は不可能です。取り壊

### 時代に合わせて呼吸しない

修復から一年が過ぎた今年「若いのに、こんなに良いお寺をもらって、いいですね」と感激した参拝者がいた。八年前、友人たちからは「こんなボロ寺」と評された寺が、である。

「こんな風雅なお寺が、近くにあるなんて全然知りませんでした」と言われた。知らなくて当然。「風雅な寺」など無かつたのである。あつたのは、雨漏り除けのビニールシートをかけた「廃寺」だった。

何度も繰り返し来てくれる人々がいる。そしてその人たちは、また別の人々を誘って来てくれるようになった。妻も子もあるのに、全財産をつぎ込んで、借金までして不安ではなかつたのか、と聞

して新築するより他に方法はない。それには徳に近い予算がかかる。もちろんそんなカネはない。たとえ、カネが集まったとしても、新築するのは嫌だった。隠れ里には、隠れ里の風情がある。そこにキンピカ、朱塗りの新建築物を作つてどうするのだろうか。そうなら、参道も、垣も、庭も、本堂も、祓も自分自身で修繕するしかない。自分の貯金と退職金を全部つぎ込んだ。足りない分は借金をした。たつた一人の廃寺修復が始まった。

道を通り隠す竹藪を伐り、ユンボを駆って駐車場を作り、参道をつけた。寺内の参拝順路には石畳を敷き、掘り

「みなには『どうしようもないボロ寺』としか見えてなかつたんです。自分には、修復した今の姿がちゃんと見えていましたから、全然心配はしていませんでした。」

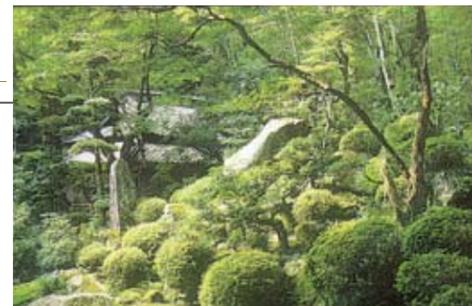
彼が目指したのは、時代に合せて呼吸しないというところである。それが現代人にアピールしたのだ。

同寺を開いた聖徳太子自作といわれる石仏を納めた靈窟を白洲正子は「巨大な蓋石をそのまま庭石に使つてあるのだが、不自然でなく、日本の造園の生い立ちといったようなものをみせられた」と評している。書院からは、小堀遠州作の、枯れ滝、鶴島、亀島など巨石を使って豪快に表現した池泉回遊式庭園を見るこ

出した石を配し、庭には新たに沙羅や千両、サザンカ、ツツジを植えた。

本堂の瓦は、日曜大工センターで買ったコーティングで補強し、滑り止めを付けて。柱は、ジャッキアップして継ぎ足して補強、雨漏りで腐った床や崩れた壁は張り替えられた。それらの材料は、買い求めた古い古材を使い、時に廃材も利用して古色を保つようにした。

なにしろ立ち入り危険視されていた建物である。壁を落としたら、その重みで床が抜けてしまったこともある。「知らない者が見たら、壊してるとしか見えなかつたでしょう」と笑う。汗にまみれ、虫に刺されながらの作業だった。腕も胸も、筋トレをしたように盛り上がった。



教林坊の本堂と庭園

「仮にお金があつて、業者に頼んだとしても、こちらの言うとおりににはなかなかしませんのですね。自分のイメージ通りに作る大きなブランドと思えば、なんてことなかつた。」

その独特の美意識を育てる方法は、観音正寺の岡村潤庵管長から教えられた。観音正寺は、かつて教林坊の親寺だから、子どもの頃から手伝いに行つていた。彼が中学二年生の時に、岡村管長はこう言った。

お茶を飲みながら、名庭を見てみると「フィーファイファイ、ココ、ココ」というきれいな声で、河鹿が鳴く。住職と、我よりほかに人はない。蛙の声で静寂が一層深く感じられる。自然を愛した唐の詩人・賈島が「雨後行鷺に逢い、更に深く遠蛙を聴く」と表現したのはこのことかと思われる。

修復を心配してくれた友人の縁で、格安で電気設備を提案してくれる業者も見つかり、境内のライトアップも実現した。今年の春はゴールデントウイークに行われ、新緑が

「良いものを見よ。絵画でも、陶芸でも、書でも芝居でも、最高のものを求めて見よと言っているのである。それは「美」を見よということだった。購うことはできなくても、見ることも出来る。それから、彼は努めて「良いもの」を見るようにしてきた。美の多くは、古いものの中にあつた。二十代にして趣味は「骨董」だった。

書院の屋根は葺き直さずである。葦を組んだ葺き直さずである。葦を除けに使われる。教林坊書院と蔵には琵琶湖の葦が使われている。近くに葦を扱う親方がいたので、協力を求めた。また、修繕の一部は地元職人たちの協力を得た。そうして、出来上がった教林坊は、いにしえから、隠れ里に佇んでいた古寺にしか見えない。竹と石と庭と古い本堂、それに書院は、俗塵を払って、まことに優雅である。

「経済的にはまだ十分ではないが、それを補って余りあるものがある」と彼はいう。蒲生町に師僧・光勝が兼務する山部赤人ゆかりの「赤人寺」がある。「今、境内は地元の公園のようになっているのですが、いざ現代歌人を招いて『歌会』を開いてみたい」と夢は広がるばかりなのだ。(文中敬称略)

入手困難な佛典の画期的翻刻印刷 天台宗典編纂所編 春秋社刊行

第2期 續天台宗全書 新発売

全十巻 予約購入募集中! 天台宗特価

◎前半一括前払い 100,000円 (5巻代金・消費税・送料込)

◎各巻前払い 21,630円 (1冊代金・消費税・送料込)

ご購入には上のどちらかをお選び下さい。

第2回配本 宗要光聚坊 下

天台宗典編纂所 FAX 077-579-6639

ぜひ寺院に1セットお備え下さい。

お問い合わせ 天台宗典編纂所 電話 077-578-5190

第1期全15巻は完結終了しました。有り難うございました。

一隅を照らす

総本山延暦寺御用達 土工、葺、建築一般

能登与 山本 房子

〒606-8192 京都市下京区富屋町48-1

電話 075(351)2895



復興した書院で。廣部住職

平成17年度天台宗学校教職員中央研修会

一般受講者募集のお知らせ

期日：平成17年7月27日(水)

会場：真正極楽寺真如山荘(京都市左京区浄土寺真如町82)

講師：仏教大学文学部教授 田中典彦 先生

演題：『宗教者としての心のケアー ~おもしろきかな 人間の心~』

日程：13:30~受付 14:30~開講式 15:00~講演

交通：JR京都駅烏丸口の市バス乗場A1より5系統又はA2より17系統に乗車。錦林車庫前又は真如堂前で下車(所要時間約40分)。徒歩約10分。

参加費：無料

申込方法：住所・氏名・電話番号をご記入の上、はがき又はFAXでお申込下さい。7月20日(水)必着。

申込先：〒520-0113 大津市坂本4-6-2 天台宗務所内 社会課 電話077-579-0022/FAX077-579-2516

# 天台宗と平和の祈り集会 (1)

天台宗宗機顧問 杉谷 義純

本年も間もなく比叡山上で平和の祈り集会が開かれる。一九八七年の比叡山宗教サミット以来、毎年山上で開かれていた祈りの集いは、今年で十八回を数える。その間世界は東西冷戦構造が瓦解し、人々は全面核戦争の恐怖から解放されたのも束の間、戦争と決別するにはほど遠い状況におかれている。すなわちこれまで抑圧されていた民族や部族の自己主張がそれぞれ衝突し、平和を脅かす世界各地での紛争となつてきているからだ。

しかもそれらは国内の政治勢力の摩擦に大國の思惑が絡み、さらには民族文化や宗教の違いが、問題を複雑かつ根深いものになっている。もちろん、紛争を止めさせるためには政治的努力が欠かせないが、根源的解決にはお互いに心から他者を認め合うことが必要である。その意味で宗教の果たす役割は少なくなく、また責任が大変重いとさえいえる。

先年のイラク戦争において、ブッシュ米大統領は勝利をキリスト教の神に祈り、フセイン・イラク大統領は自國の勝利をアッラーの神に祈ったことは、みなさんの記憶に新しいことである。しかし、本来宗教における祈りとは、戦争に勝利をもたらずとも、他の宗教に対して自己の宗教の優位性をもたらずともでない。人々がわけへだたなく幸福になるためのものであつたはずだ。ところがいつの間にか祈りの視点が、神仏の側から人間の側に動き出してしまったのだ。すなわち人間のエゴイズムが祈りに投影され、神仏の願いと乖離するようになった。

そのうえ、宗教的伝統を厳格に守ることこそ信仰に忠実であるという姿勢が、やがて独善を生むことになる。その結果宗教は異なる宗教を信じる人々を抑圧したり、紛争の原因になるだけでなく、それを激化させる働きにもなつてきた。そこで、このような宗教の負の遺産に対する批判に

宗対話路線の端緒を開いたのは、ヨハネス二十三世教皇であり、それを公會議で正式決定したのがパウロ六世教皇だつた。そして幾多の批判を乗り越え、この路線を忠実に実践し、不動のものにしたのが、二人の教皇名を自分の教皇名とした、先頃亡くなられたヨハネス・パウロ二世で

二世教皇の出会いによること大きい。日本の宗教者の中で、バチカンと儀礼的な表敬ではなく、本格的な対話を求めて訪ねたのは、葉上阿闍梨が最初であろう。パウロ六世の改革路線に共鳴したからだ。世界連邦こそ平和のための理想国家とすれば、その建設のためには、世界の諸宗教が和解することが必要だ、というのが葉上師の考えの基本であつた。そしてその和解推進が日本の宗教者の使命であると考え、精力的に活動していた。特に一九七八年七月、ローマ郊外のネミ湖畔で開かれた、日本バチカン宗教代表者會議は、宗対話史上特筆

## バチカン公會議と葉上阿闍梨

すべきものがある。日本側代表は、葉上師、徳川宗敬神社本庁総務、長沼基之立正佼成會理事らを中心とする。この會議の日本代表団の構成が、そのま

【延曆寺一山】伊崎寺・光永澄道師【滋賀】長壽寺・長山慈信師【京都】法傳寺・岸俊道師【二尊院】羽生田寂裕師、長法寺・川西寂紹師【兵庫】昌樂寺・竹川祖雄師【四國】妙法寺・大岡眞淳師【九州東】

## 天台宗最高位に辞令親授

### 大僧正16名、権大僧正24名

平成十七年度の大僧正・権大僧正の補任辞令親授式が、去る六月十三日、延曆寺書院で挙行された。

天台宗では、毎年、教師の功績等による僧階進級を各教区の教師選考会や中央教師選考会に諮問。その審査を経て僧階補任が決定される。

中でも、天台宗の僧階の最高位にあたる大僧正と次位の権大僧正の補任辞令については、直接天台座主親下から手渡される。

（該号は次のとおり。所属教区・所属寺院名・氏名の順に掲載。平成十七年六月十三日現在）

大僧正

【滋賀】觀音寺・原道隆師、廣徳寺・小谷静貴師【近畿】光澤寺・郡政則師【兵庫】能福寺・雲井世雄師、寶生院・幹榮盛師、悟真院・大塚善忍師、彌勒寺・草別碩善師【岡山】觀音寺・間庭弘圓師【九州西】種因寺・高倉照照師、武藏寺・井上亮範師、正福寺・東亮齊師【三岐】法真寺・宇野光道師【東京】長命寺・小林昭彦師、正觀寺・晝間玄明師、天王寺・末廣照純師、大泉寺・杜多道雄師、正法院・田島章成師、大圓寺・寺本亮

洞師、圓通寺・高築光亮師、圓林寺・高築堯明師【北総】修徳院・大照堯弘師【南総】行元寺・市原淳田師【茨城】安樂寺・松永博英師【山形】性相院・後藤仁田師 以上二十四名

## 祝新任職任命

【南総】坂水寺 佐久間実洗師【信越】満勝寺 加藤晃順師【三岐】東光寺 坂本実仁師【東京】養壽院 赤沼廣海師【南総】妙泉寺 郡 亮徳師（平成十七年4月22日、平成十七年6月16日 法人部調）

## 示寂

安藤 圓倫師 平成十七年5月28日遷化 東海教区圓光寺住職 6月1日本葬儀執行 大滝 眞永師 平成十七年6月4日遷化 福島教区景政寺住職 7月2日本葬儀執行予定

## 特別授戒会執行状況 (6月16日現在)

◆北陸教区		
西養寺	5月22日	
圓教寺已講大僧正		戒弟107名
◆福島教区		
西方寺	5月24・25日	
毘沙門堂探題大僧正		戒弟741名
◆群馬教区・北前橋部		
龍蔵寺	5月30日	
曼殊院探題大僧正		戒弟232名
◆群馬教区・伊勢崎部		
華蔵寺	5月31日	
曼殊院探題大僧正		戒弟272名
◆群馬教区・桐生部		
世音寺	6月1日	
曼殊院探題大僧正		戒弟237名
◆九州西教区・対馬部		
萬松院	6月1日	
毘沙門堂探題大僧正		戒弟133名
◆栃木教区・真岡部		
莊嚴寺	6月5日	
三千院探題大僧正		戒弟213名
◆東海教区・第4部		
願王寺	6月5日	
曼殊院探題大僧正		戒弟157名
◆群馬教区・西前橋部		
昌樂寺	6月9日	
毘沙門堂探題大僧正		戒弟300名
◆群馬教区・下仁田部		
清泉寺	6月10日	
毘沙門堂探題大僧正		戒弟191名
◆栃木教区		
龍泉寺	6月15日	
三千院探題大僧正		戒弟240名
◆栃木教区		
月蔵寺	6月16日	
三千院探題大僧正		戒弟210名
◆埼玉教区		
坂戸市文化会館	6月16日	
毘沙門堂探題大僧正		戒弟877名

五月二十日、天台仏教青年連盟(酒井圓弘代表)が、先の新潟中越地震で被災した天台寺院十カ寺を訪ね、仏青独自で募金した復興支援金二百四十一万一千円を届けました。仏青からの寄稿を掲載する。

現地レポート

# 仏青がゆく

## 被災寺院に支援金を届ける 大師の心を同じくする者同士

支援金の寄附方法をめぐっては、先方を煩わせず振り込みにするべきではという意見もあった。しかし、震災発生直後にカイロや食料などを携えて単身駆けつけた者、教区仏青単位のボランティアとして被災地に入った者、募金のために街頭に立った者も多

く、ぜひ直接お会いして自分たちの思いを届けたいと思っただ。 今回の支援金のうち百二十四万一千円を独自に集めた埼玉仏青も、昨年暮に連盟からの依頼を受けてボランティアに参加した教区仏青のひとつだ。宗務庁から届いた資料に目を通して、初めて新潟の天台寺院が置かれている実情を知った。檀家に支えられて寺院収入で生計が成り立つ都市部とは異なり、被災寺院の多くは檀家を持たず、ご住職と信者さんの熱意のみに支えられている。そうした寺院からもはや復興を断念せざるを得ないとの声が聞かれている

折しも、一宗を挙げての開宗千二百年慶讃大法会の最中、他教区が授戒会など華々しい成果を挙げる一方で、これまで新潟の地を照らしてきた法灯が途絶えてしまうなどということがあっていいのだろうか。一教区仏青にすぎない自分たちにできることなど知れている。それでも、どんなに微力であるにせよ、ここにも同じ仏教大師のお心を奉じる同朋が存在することだけは伝えたいと思っただ。 さっそく被災寺院復興支援募金のポスターを手作りし、

去る五月二十二日、九州東教区の小城山・寶命寺(摩尼尊彦住職)において本堂落慶法要が執り行われた。 みほとけの里「西の比叡山」といわれる大分・国東半島の六郷満山は、本山・中山・末山の各本寺からなり、寶命寺はその末山本寺。 同寺は、養老元(七一一)年、宇佐八幡仁聞菩薩によって創建されたと伝えられてい



再建された寶命寺の本堂外観

# 開宗千二百年に併せ本堂再建

## 大分・寶命寺で落慶式典

同日の落慶法要には、秦順照天台宗参務社会部長、獅子王圓泰延曆寺一山・延命院住職、秋吉文隆天台宗宗議會議員ら多数が随喜。檀信徒の悲願であった本堂落慶であり、法要に際しては稚児行列が行われるなど、当日は多くの参拝者で賑わった。

## 観音堂・庫裡に続き寺観一新

(報告)藤園俊通通信員

# 消えないで。新潟の法灯

折しも、一宗を挙げての開宗千二百年慶讃大法会の最中、他教区が授戒会など華々しい成果を挙げる一方で、これまで新潟の地を照らしてきた法灯が途絶えてしまうなどということがあっていいのだろうか。一教区仏青にすぎない自分たちにできることなど知れている。それでも、どんなに微力であるにせよ、ここにも同じ仏教大師のお心を奉じる同朋が存在することだけは伝えたいと思っただ。 さっそく被災寺院復興支援募金のポスターを手作りし、



折しも、一宗を挙げての開宗千二百年慶讃大法会の最中、他教区が授戒会など華々しい成果を挙げる一方で、これまで新潟の地を照らしてきた法灯が途絶えてしまうなどということがあっていいのだろうか。一教区仏青にすぎない自分たちにできることなど知れている。それでも、どんなに微力であるにせよ、ここにも同じ仏教大師のお心を奉じる同朋が存在することだけは伝えたいと思っただ。 さっそく被災寺院復興支援募金のポスターを手作りし、

# 天台トピックス

## ◎リーダー研修会開催

六月十一・十二日の両日、京都・東山閣を会場に、「天台青少年比叡山の集い」リーダー研修会を開催。全国から六十二名のリーダーが参加し、担当ブロックごとに打ち合わせ、本番に備えていた。

## ◎保護・民生合同研修会開催

六月十三・十四日の両日、東京・アルカディア市ヶ谷を会場に、天台宗保護司会、民生・児童・主任児童委員会

## ◎中央法儀音律研修会

七月六日〜7日 天台宗務庁・学院寮

## ◎台教連中央研修会

七月二十日〜28日 京都・真如山荘

◆「デスクから」は休みます。

折しも、一宗を挙げての開宗千二百年慶讃大法会の最中、他教区が授戒会など華々しい成果を挙げる一方で、これまで新潟の地を照らしてきた法灯が途絶えてしまうなどということがあっていいのだろうか。一教区仏青にすぎない自分たちにできることなど知れている。それでも、どんなに微力であるにせよ、ここにも同じ仏教大師のお心を奉じる同朋が存在することだけは伝えたいと思っただ。 さっそく被災寺院復興支援募金のポスターを手作りし、

折しも、一宗を挙げての開宗千二百年慶讃大法会の最中、他教区が授戒会など華々しい成果を挙げる一方で、これまで新潟の地を照らしてきた法灯が途絶えてしまうなどということがあっていいのだろうか。一教区仏青にすぎない自分たちにできることなど知れている。それでも、どんなに微力であるにせよ、ここにも同じ仏教大師のお心を奉じる同朋が存在することだけは伝えたいと思っただ。 さっそく被災寺院復興支援募金のポスターを手作りし、

折しも、一宗を挙げての開宗千二百年慶讃大法会の最中、他教区が授戒会など華々しい成果を挙げる一方で、これまで新潟の地を照らしてきた法灯が途絶えてしまうなどということがあっていいのだろうか。一教区仏青にすぎない自分たちにできることなど知れている。それでも、どんなに微力であるにせよ、ここにも同じ仏教大師のお心を奉じる同朋が存在することだけは伝えたいと思っただ。 さっそく被災寺院復興支援募金のポスターを手作りし、

# 最澄と天台の国宝

特徴と魅力

(3)

京都国立博物館 芸室長 久保 智康

## Ⅱ 法華経への祈り

天台宗のはぐくんだ多様な信仰の美術をご覧いただく本展覧会の第二のテーマは「法華経」です。

檀信徒の皆さんがお寺でもよく耳にされる自我憐れや観音経は法華経の一節ですし、お説教でも法華経に関わる話題が多いと思います。それほど天台宗にとって大切な教えの要が法華経なのです。伝教大師は、「人は能力や人格の差異に関わりなく、皆ひとしく悟りを得、仏となれ



重文 法華経 陀羅尼品 太山寺蔵

平安時代後期になると、写経した大切な法華経を地中に埋めて後世に守り伝えることが大きな功德であるとの考えが広まりました。比叡山横川や京都・鞍馬寺で発見された経箱や経筒(国宝)の豪華さに驚かれることでしょう。ところで、法華経の最終章では、これを説諭し伝えていく者を護るのが普賢菩薩であると説いています。そこから普賢菩薩への信仰が高まり、



重文 普賢菩薩像 安楽寿院蔵

象に乗る普賢を大きく描いた仏画が生み出されました。京都・安楽寿院蔵の普賢菩薩像(重要文化財)は、中国仏画の影響も見て取れるまことに印象的な名品で、法華経信仰の広がりをうかがわれます。

会期 11月8日(土) 11月20日(日)

会場 京都国立博物館 (京都・東山七条)

お問い合わせ 読売新聞大阪本社文化事業部

TEL 06-6366-1809

## 雪が溶けて川となって

中尊寺貫首 千田 孝信

(4)

「おかあさん、むかしはね、きょうりゅうがいつぱいいたんだって...でもね、いまはみーんな、おかあさんにかわつたんだって」

## おかあさん むかしはね。

ある三歳児の言葉です。「だって...」とあるから、誰かから聞いたか、絵本かマンガで見たのかもしれません。心あたりがありますね、お母さ

「美美容院に行くてくるわ」どの母親に「じゃあ、よそのおぼちゃんになるんだね」の三歳児、これも極めつきですね。子どもの目には、よそのおぼちゃんが綺麗に見えるのでしょうか。子どもも比較しているのです。比較をこえた絶対の禁

じ手は、無力な児童への虐待です。御大師さまの御遺戒「わが同法、童子を打たずんば、わがためにおんが、現代世相のなかで、いちだんの光を放って輝いて



カット・橋本修一「かたつむりと雨」(アトリエ・ウーフ)

## 素晴らしい言葉たち

おかあさん 「おぼん」って心がかえってくるんでしようでも わたし おにいちゃんのからだにかえつてきてほしいの

大高 充代(東京・五歳) 「ママに会いたくて生れてきた」 川崎 洋編・読売新聞社刊

どうですか。何も説明はいらなと思います。でも、こう言われたお母さんは、ちよつとかわいそうですね。きつと、泣いてしまったんじゃないかな。大人は、ぐつと我慢することもできますが、子どもは、悲しみをこんなにストレートに表現します。お盆は、亡くなった人の心が、家族の心に帰って来る日であり、亡くなった人を家族みんなで偲ぶ日でもあります。それでも、やはりからだは、帰ってきてくれない。仏教では、この世に残された人がいつまでも悲しんだら、

旧暦の七月十五日がお盆です。正式には盂蘭盆会といいますが、東京は今月で、全国的には八月。昔は、ご先祖様の霊をお迎えするために、提灯を持ってお寺に行き、火をつけて家まで帰ったものでしたが、もう提灯を持っていない家、ほとんどなくなりま

天台山は平成十八年に開宗二百年の記念の年を迎えます

あなたのの中の 仏に会いに

TEL 077-579-0022 FAX 077-578-4814

詳しくは 千520-0113 滋賀県大津市坂本4-6-2 天台宗務庁 天台宗開宗1200年慶讃大法会事務局